

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組03	公共交通軸としてのバス交通のサービス水準の充実
②対応する目標・課題	低炭素・省エネルギー	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標: 公共交通利用者数	■目標値: 62,432人/日 (H21年度) ⇒ 64,000人/日 (H28年度)
	■評価指標: 便利な公共交通の徒歩圏に住む居住人口の割合	■目標値: 28% (H17年度) ⇒ 42% (H37年度)
	■評価指標: 運輸部門からのCO2排出量	■目標値: 1,037千t-CO2 (H17年度) ⇒ 190千t-CO2 (H62年度)
④取組内容 市内を運行する幹線バス24路線のうち、運行頻度の高い「笹津線」や「藤の木循環」などのバス路線を「イメージリーダー路線」として設定し、デザイン性が高く、乗降しやすいノンステップバス車両の導入やハイグレードなバス停をはじめとした上屋の整備を重点的かつ先導的に行い、路線バスのイメージアップ、さらにはP&R駐車場の利用促進等により利用者の利便性向上を図る。なお、バス停上屋の整備にあたっては、民間活力を導入した広告付きバス停の設置をはじめ、上屋設置による利用者のバス待ち環境とミニ交通結節点としての都市景観の改善を図りつつ、バス交通のサービス水準の充実に努める。		
⑤エリア 沿線の人口や都市機能の集積を進める幹線バス路線のなかでも、運行頻度や利用者が多い「笹津線」、「藤の木循環」、「富山空港線」の3路線を実施エリアとする。		
⑥主体 交通事業者(富山地方鉄道)、富山市		
⑦活用した国等の制度 車両購入費やバス停上屋の整備費への補助: 社会資本整備総合交付金(国土交通省) <H23~26年度>		
⑧地域の関与 【実績】・取組に対する富山市の支援等		
⑨スケジュール		
23年度	ノンステップバス車両の導入(1台/年)・バス停上屋の整備(1基/台)	
24年度	ノンステップバス車両の導入(1台/年)・バス停上屋の整備(1基/台)・P&R駐車場の利用促進	
25年度	ノンステップバス車両の導入(1台/年)・P&R駐車場の利用促進	
26年度	ノンステップバス車両の導入(1台/年)・P&R駐車場の利用促進	
27年度	ノンステップバス車両の導入(1台/年)・バス停上屋の整備(1基/台) ・P&R駐車場の利用促進	
28年度	ノンステップバス車両の導入(1台/年)・バス停上屋の整備(1基/台)・P&R駐車場の利用促進	
29年度以降	ノンステップバス車両の導入(1台/年)・バス停上屋の整備(1基/台)・P&R駐車場の利用促進	
⑩他の取組との連携 取組名: LRTネットワークの形成 本市の公共交通体系は、LRTネットワークをはじめとする鉄軌道と、高頻度運行のバス路線によって構成することを目指していることから、LRTネットワークの形成を推進する。		
⑪自立・自律の方針・目標 ●バス交通活性化の経済効果 バス交通のサービス水準を充実し、路線バスの利用促進を図ることによって、交通事業者の経営環境の改善や新たな雇用を創出し、自立的かつ継続的な運行を目指すとともに、高齢者の外出機会の創出などライフスタイルの転換を促し、消費行動の増大に伴うさまざまな経済効果の派生を目指す。 ●公共交通沿線での地価の維持・向上による税収の確保 公共交通活性化への投資により、沿線地域の地価(資産価値)を維持・向上させ、税収(固定資産税・都市計画税)を確保するとともに、その財源により、さらなるまちづくりへの投資を行うといった好循環を目指す(中心市街地や富山ライトレール沿線では、これまでの活性化策の展開により地価の下落傾向に歯止めがかかっている)。		